

要請書

名古屋市長 河村 たかし 様

都市計画道路 弥富相生山線建設中止について

いつも市民生活の向上に努めていただきありがとうございます。

2009年9月26日、相生山緑地で開かれた「市長の前でちょっといい対話 in 相生山」において、河村市長は弥富相生山線の必要性を科学的に検証するとして「相生山緑地の道路建設に係る学術検証委員会」を設置し、2010年12月に報告書をまとめましたが、多くの項目で「データ不足のため検証できず」とされ道路建設の是非を示さないものでした。そして2011年3月地下鉄桜通線の徳重延伸、国道302号と名二環の開通など周辺の交通状況が大きく変化したため、市は交通量調査をして検討すると表明しましたが今日現在結論は出ていません。

そこで私たちは、情報公開で得られた交通量調査の報告書や愛知国道事務所HPの記述などから、野並・島田交差点の渋滞は現在ほぼ解消し、通過車両の生活道路への入り込みも現在の規制を徹底することにより、地域住民の負担を増すことなく大きく減らすことが可能であり、緑地を破壊する道路建設は不要であると考えます。

さらに、笹子トンネル事故にみられるように、インフラの老朽化は本市においても例外ではなく今後さらに維持保守費用が増加するのではないのでしょうか。必要のない道路を建設して、維持費用などを含め次世代へ負担を付け回すことがあってはなりません。

市はこれらのことを勘案して弥富相生山線の建設を中止するよう要請します。

2013年2月8日

相生山の自然を守る会
代表 近藤 国夫

高田町線を考える会
代表 古田 剛

山手植田線に反対する会
代表 河合 秀之

八事天白溪線・東山公園整備計画を考える会
事務局長 栗山 知久